

賛助会員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

日本製薬株式会社ライフテック部 (〒598-8558 大阪府泉佐野市住吉町 26)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒140-0000 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

編集後記

大会プログラムは例年 1 号に掲載されていますが、今年は 7 月に開催される 36 回大会（札幌）に併せて 2 号に掲載します。鹿児島から北海道に行く旅費に頭を悩ませていたところ、某格安航空会社就航のニュースが飛び込んできました。鹿児島から大阪を経由して札幌まで片道 1 万円ほどで行けるとのことで、大会へ連れて行く学生を選別せずにすみそうです。一方で、学生時代に利用していた函館発大阪行きの寝台特急日本海が廃止になり、時代の変化を感じています。（寺田）



ワカメの分布南限群落の先に見えたもの

ワカメは主要な食用海藻ですが、海外では移入種としても問題視されています。現在では北米太平洋岸やニュージーランド、ヨーロッパなど世界各地に広がっていますが、自然分布の南限は鹿児島県です。「自然分布の最南端はどこだろうか」と研究室で話題になり、自分たちで探してみることにしました。薩摩半島最南端の指宿市山川が分布南限として知られていますが、それより南の佐多岬や三島村、種子島、屋久島には生えていませんでした。分布南限の候補地はどんどん狭まり、最南端の 1 個体を目指して指宿市山川で海岸線沿いにリレー形式で泳いで観察しました。すると、ある場所で最南端と思われる個体をとうとう発見し、それ以南は砂地になりました。これが分布南限だと喜んだのもつかの間、その先に見えたのは・・・なんとワカメの養殖施設でした。この施設は商業用（出荷用）ではなく、藻場造成の母藻供給用のワカメだそうです。しかし、日本で一番南にあるワカメは「養殖」であることに変わりありません。もちろん、自然分布の南限は私たちが見つけた群落になりますが、思わぬ結果に意表を突かれた調査になりました。ワカメの南限群落は、観光名所である「たまた箱温泉」の露天風呂（写真）の下あたりで、近くには「山川砂蒸し温泉」もあります。この露天風呂は佐多岬や開聞岳が見える絶景の湯として有名ですが、ワカメの南限だと思いながら景色を眺める人はいません。藻類学会の皆さんがこの温泉にお越しの際は、ワカメのことや、学生数名が漁船を搬送させて数キロにわたって泳いだことを想像しながら絶景をご堪能いただければと思います。（写真：露天風呂からの眺め。遠くに開聞岳を望む）



（寺田）